2025 年度　前期

留学生教育・支援センター

日本語プログラム「上級Ⅰ」シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
上級Ⅰ　総合	木Ⅰ・２	野田	…　１
上級Ⅰ　読解	金Ⅰ・２	松尾	…　２

2025 年度 前期	曜日・校時	木曜日・1 校時、2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級Ⅰ総合			
担当教員名	野田 智子		e-mail	nodatomo@nagasaki-u.ac.jp
授業到達目標	構成を考えてまとまった文章が書けるようになり、発表できるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

		1 限目	2 限目
第 1 週	4/10 (木)	オリエンテーション、 Ⅰ-1:Good writing に必要なこと	Ⅰ-2:文章の種類（モード）と目的
第 2 週	4/17(木)	Ⅰ-3:文章の構成	Ⅱ-1:ナラティブ・客観的／自分について語る
第 3 週	4/24(木)	Ⅱ-2:描写 客観的描写	Ⅱ-2:描写 心情を重ねた情景描写
第 4 週	5/8(木)	Ⅱ-2:描写 グラフの描写	グループワーク・発表
第 5 週	5/15(木)	Ⅱ-3:説明 1.手順・過程	グループワーク
第 6 週	5/22(木)	Ⅱ-3:説明 2.定義	グループワーク
第 7 週	5/29(木)	Ⅲ-5-1:参照・引用のルール	Ⅲ-3:情報収集
第 8 週	6/5(木)	Ⅱ-3:説明 3.分類・例示	グループワーク・発表
第 9 週	6/12(木)	Ⅲ-1:リサーチペーパーとは Ⅲ-2:発想法（p160 ワークシート）	Ⅱ-3:説明 3-4 比較・対象
第 10 週	6/19(木)	Ⅲ-2:発想法（p160 ワークシート:最終作文に向けて）	グループワーク
第 11 週	6/26(木)	Ⅱ-3:説明 3-5 原因・結果	グループワーク
第 12 週	7/3(木)	Ⅱ-4:論証（意見文）	グループワーク・発表
第 13 週	7/10(木)	Ⅱ-4:論証（問題解決文）	グループワーク
第 14 週	7/17(木)	Ⅲ-4:アウトラインから執筆へ	Ⅲ-5:執筆・推敲から完成へ
第 15 週	7/24(木)	最終作文について発表	ふりかえり、まとめ

・基本的に、連絡は LACS で行います。

教科書・教材等	『Good Writing へのパスポート 読み手と構成を意識した日本語ライティング』 田中真理/阿部新 著、くろしお出版
成績評価の方法・基準等	授業へのとりくみ・グループ活動への積極的な参加:5%、 作文:6 回×10%=60%、 最後の作文（7 回目）:15%、 発表:4 回×5%=20% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。 留学生教育・支援センター （TEL）095-819-2243 （E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係:乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2025 年度 前期	曜日・校時	金曜日 1 校時、2校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級 I 読解			
担当教員名	松尾まゆ美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	意見文や説明文など、まとまった長さの文章を理解できる。また、文意を捉えるだけではなく、他者との意見交換をしながら思慮を深め、日本語の表現力を高める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

意見文や説明文、またはグラフや資料などを見て内容を理解し、ペアワークやプレゼンテーションなどで意見や考えを共有する。

		1 限目	2 限目
第 1 週	4/11	オリエンテーション	Unit1「自己紹介と本当の自分」本文
第 2 週	4/8	Unit1［自己紹介と本当の自分］文型	Unit1「自己紹介と本当の自分」発展
第 3 週	4/25	Unit3「ジェンダーを考える」本文	Unit3「ジェンダーを考える」本文
第 4 週	5/9	Unit3「ジェンダーを考える」文型	Unit3「ジェンダーを考える」発展
第 5 週	5/16	Unit4「ことばと文化」本文	Unit4「ことばと文化」本文
第 6 週	5/23	Unit4「ことばと文化」文型	Unit4「ことばと文化」発展
第 7 週	5/30	Unit5「心と体のバランス」本文	Unit5「心と体のバランス」本文
第 8 週	6/6	Unit5「心と体のバランス」文型	Unit5「心と体のバランス」発展
第 9 週	6/13	Unit6「働くということ」本文	Unit6「働くということ」本文
第 10 週	6/20	プレゼンテーション①	プレゼンテーション①
第 11 週	6/27	Unit6「働くということ」文型	Unit6「働くということ」発展
第 12 週	7/4	Unit8「環境のためにできること」本文	Unit8「環境のためにできること」本文
第 13 週	7/11	Unit8「環境のためにできること」文型	Unit8「環境のためにできること」発展
第 14 週	7/18	Unit9「食の共同性」本文	Unit9「食の共同性」本文
第 15 週	7/25	プレゼンテーション②	プレゼンテーション②
第16週	8/1	期末試験	

教科書・教材等	『新中級から上級への日本語』The Japan Times
成績評価の方法・基準等	授業への参加度10%/提出物10%/プレゼンテーション 20%/小テスト40%/期末試験20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。 留学生教育・支援センター （TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90%となる。